

2026年度 実践！ソフトウェア品質保証のためのメトリクス活用セミナー
カリキュラム

開催日程：【第1回】2026年7月9日（木）～10日（金）

日時	科目
9:25～9:30	事務連絡
9:30～12:30	<p>1.メトリクスはどのように活用すればいいのか ～ いきなり 事例！：メトリクスを活用した定量的品質管理の実際 ～</p> <p>1.1 ソフトウェア品質管理に求められることは</p> <p>1.2 効果的／効率的なソフトウェア品質管理の実現例（事例：品質会計）</p> <p>1.3 品質会計システムの運用</p> <ul style="list-style-type: none"> 品質会計システムの概要 品質会計の実施手順 潜在バグの予測
12:30～13:30	昼食休憩
13:30～17:00	<p>1.3 品質会計システムの運用（続き）</p> <ul style="list-style-type: none"> バグ分析の実施 工程移行と工程後戻り 潜在バグ予測の見直し 出荷判定 出荷後品質管理 <p>1.4 品質会計の効果</p> <p>2.ソフトウェア品質保証におけるメトリクスの活用</p> <p>2.1 メトリクス活用に当たっての基礎知識</p> <ul style="list-style-type: none"> データの種類と特徴 データ分析／評価の対象 データ分析／評価における考慮点 データ分析の基礎（基本統計量） <p>（演習1）データ分析の基本</p>
9:30～12:30	<p>2.2 メトリクス活用の実際</p> <p>ーソフトウェアの品質保証のための、様々な手法を用いたメトリクス活用法ー</p> <p>2.2.1 メトリクス（評価尺度）を用いた活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 適正な品質計画の立案 メトリクスに基づく品質評価と対応 <p>（演習2）出荷可否の判断は？</p> <ul style="list-style-type: none"> レビュー／テストの進捗とバグの摘出状況からみた品質の評価 <p>2.2.2 統計手法を用いた活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 予測（相関分析／回帰分析） <p>（演習3）テスト工程で何件バグを検出すればいいの？</p>
12:30～13:30	昼食休憩
13:30～17:00	<p>2.2 メトリクス活用の実際（続き）</p> <ul style="list-style-type: none"> 有意差の検証（一元配置、分散分析） <p>（演習4）品質の改善状況は？</p> <p>（演習5）生産性に影響を及ぼしているものは？</p> <p>2.2.3 いろいろな観点からデータを分類することによる活用</p> <ul style="list-style-type: none"> バグ分析 <p>（演習6）テストは終了していいだろうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ゾーン分析

※都合により変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

※本カリキュラム（時間割）が最新版となります。

【講師（敬称略）】

真野 俊樹（SQA総合研究所 代表 エグゼクティブコンサルタント）